

# 「協同」の理念を広げる存在に

## 厳しい社会状況の今だからこそ

関西の商工協同組合 代表理事 大里 哲久

### 能登半島地震で被災された皆様 心よりお見舞い申し上げます

新年明けましておめでとうございます。

年明けに石川県能登地方で震度7の大地震がありました。石川県では、220人以上が亡くなり重軽傷者数も1千人を超え、建物やライフラインも甚大な損害を受けただけでなく、復旧の見通しが立っていないと報道されています。併せて、北陸電力志賀原発で当初は大きな被害はなかったと発表されたにもかかわらず、後に変圧器からの多量のオイル漏れや建物の損傷も見つかったと報道がありました。改めて原発の地震によるリスクを目的の当りにし、廃炉を進め自然エネルギーへの転換を求めます。

被災された多くの皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の早い復興を心よりお祈り申し上げます。

### 戦争・軍備増強に

### 反対し続けます

2023年を振りかえって、大きな出来事としてパレ

スチナ、イスラエルの軍事衝突が強く印象に残っています。ウクライナ戦争が長期化し、多くの民間人が犠牲になっっている最中に軍事衝突が起きました。パレスチナ・ガ

### 交流・提携の一層の 強化に向けて

ザ地区へのイスラエルの攻撃により、病院や避難所になっている建物、さらに避難命令で逃れる市民までもが犠牲になっっています。これに対し、世界各地でイスラエルへの批判が高まり、戦争反対のデモ

昨年4月の統一地方選挙では、豊中、高槻、川西地域の3名の候補者を支援しました。3名は無事当選し、ご協力ご支援いただいた多くの方々にお礼申し上げます。今後の議員活動においては、平和な社会に向け地域での活動に取り組み続けてほしいと思います。

や人道支援の動きが広がっています。関西の商工協同組合（以下、商工組合）としても、即時停戦を求める声明を出しました。

国内では、10月よりインボイス制度が導入されました。ただでさえエネルギーや原材料費の高騰などで厳しい経営が続いている中、これまで課税事業者でもなかった立場の国民の暮らしの厳しさを省みることなく、ただ「決まったことだから」と導入を強行しました。商工組合には個人事業主や零細事業組合員も多く影響は深刻で、導入には反

対してきました。加えて政府は、防衛費を43兆円確保するため5年間で14・6兆円程度を追加で賄うと発表、更に増税を進めようとしています。これでは、消費税の「国民福祉の充実等に必要なる歳入構造の安定化に資するため」という本来の福祉目的から外れていることは明らかです。私たちは、防衛費に巨額の税金をつぎ込むために、国民に負担を押し付けることには反対します。

ブロック交流会は大阪地域で取り組みました。交流会は、それぞれの地域の組合員に参加していただき、日々の事業活動や地域活動を行う中で人的な交流を深めています。組合員同士の協力によって今まで以上に活動の幅を広げることができるようではないかと取り組んでいます。当日は、商工組合の役割について率直な意見をいただきました。理事会で議論したうえでこのニュース紙面でもお知らせしてききました。大阪地域以外での開催も模索しましたが行えなかったことを反省し、開催の頻度を増やしていきたいと思

10月には、提携団体の阪神医療生活協同組合さんをお願いして、組合員向け

講演会、「免疫力を高める。食・漢方薬・鍼灸と東洋医学から学ぶ」を開催しました。東洋医学の観点から、コロナウイルスのような感染症の拡大予防に関してはワクチン接種が主でなく、免疫力を高めることの大切さを学びました。日常的に免疫力を高めるための漢方薬や鍼灸の取り入れ方などの解説をいただき、参加者から様々な意見・質問もあり、好評でした。

# 関西の商工協同組合 ニュース

2024年1月/第369号

発行/関西の商工協同組合  
住所/豊中市上野東3-18-15-2F  
電話/06-6858-5702  
Fax/06-6846-2175  
URL <http://kita-osaka.co.jp/kumiai/>  
E-mail [kitashoko@leaf.ocn.ne.jp](mailto:kitashoko@leaf.ocn.ne.jp)



▲QRコード



▲4年ぶりに開催された「たかつき生協祭」には組合員各社も多数参加し、会場を盛り上げました。(2023年11月25日)

もお知らせしてききました。大阪地域以外での開催も模索しましたが行えなかったことを反省し、開催の頻度を増やしていきたいと思

### 働く人たちの福利 厚生事業にも尽力

商工組合に対しては、コロナ禍も踏まえて協同組合

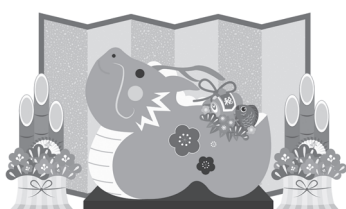
2024年、私たちが取り巻く社会状況はますます厳しくなるものと思われま

《共同利用・相互協力をつよめよう》 《買う人が売る人に、売る人が買う人に》 《販売ルートの相互紹介で事業の拡大を》

## あけましておめでとうございます

私たちはどのような戦争にも反対し、平和を希求します。

関西の商工協同組合



新春  
座談会

「気候変動、パンデミック、戦争、  
この時代に私たちはどう生きるか」  
市民と共に！市民派議員 4 氏に聞く



▶左から北上あきひと・兵庫県議会議員、木村眞・豊中市議会議員、難波希美子・能勢町議会議員、高木隆太・高槻市議会議員

昨年12月30日、関西くらしの商工協同組合が応援している4名の市民派議員に集まってもらい、2024年、そしてさらに先の未来に向け、私たちは何を考えどう暮らしていくべきか？共に語り合うオンライン座談会を企画しました。

**松原**（司会、商工組合事務局）：みなさん、大晦日が翌日にせまる忙しいタイミングで時間を取っていただきありがとうございます。さて、3年にわたって私たちの暮らしを制限してきた新型コロナウイルスによるパンデミックが一応ひと段落しましたが、今の社会システムを大きく変えなければ、今後も新たな感染症の爆発的流行は容易に起こるでしょう。また、第二次世界大戦を経験したことな

い私たちにとって、ロシアのウクライナ侵攻や現在の中東情勢は、世界が違うフェーズに入ったと感じさせるような状況です。気候変動による生活環境への影響も合わせ、このような課題に直面する時代に、私たちが何を考え、暮らし、行動していけばいいのか？という問いかけを今日のテーマにしたいと思えます。

まず、今回のパンデミックで私たちが暮らす社会の脆弱さが露呈したと思うのですが、そのあたりを政治に携わる立場からどういう風に見ておられたか？ぱっと見は通常の生活に戻ってきたように思われるこの段階で、もう一度振り返ってみてください。**北上**：そうですね。自治体議員として課題はいろいろあると思います。ひとつは保健所が行政改革の中で減らされているということがありまして、現場に視察に行くと、保健士が減らされて人手が足りない、感染症の防具や患者を運ぶ車も足りない、というような状況がありました。医療や保健が非常に軽んじられていることが露わになったという事です。

「仕事・暮らしなんでも相談」ということで、たくさん相談を受けてきたのですが、やはり生活不安、労働者の解雇、雇止めという問題があり、事業者の資金繰り面も非常に大きな課題だと感じました。その中で支援策が後手後手にまわって、住民の暮らしをしつかり支えられる体制が十分ではなかったと思います。また大人の課題とか生活苦というのは政治的な課題として取り上げられたけども、子どもも問題っていうのもある。子どもも非常に我慢を強いら

れた面があると思うのです。学校の一斉休校がありましたけども、やはり子どもたちの学ぶ権利という観点からして、あの政策が妥当だったのかどうかは問われなければいけないと思います。国と自治体との関係でいっても、学校を休校にするかどうかっていうのは本来なら自治体あるいは学校の権限なのに、国からのお達しで感染症が広がっていないような地域でも学校を休みにして

しまった点など、国と地方との関係というのも一つ課題としてあるように思います。**木村**：コロナを名目に非常事態という強権体制みたいなものが正当化されたというのか。学校を一斉休校にした事例とか、もう完全に法令上の権限を超えたところで一方的に強引に、なおかつ今振り返れば完全に必要も効果も全くないような完全な失敗を強権発動してやったということですね。

市民がつながっていくことが  
何より大事

**難波**：能勢はご多分に漏れず保健所がなくなっていて、すごくおかしいなと思ったのが、コロナ患者の数が分からないんですよ。池田市の保健所が管轄になるので、町長に聞いても誰に聞いてもわからないんですよ。自分の町内のことだからといって、やっぱり地方自治としておかしきやろ！と思います。それと、泉大津市長のメッセージ（南出市長がワクチン接種は強制ではなく、副反応の情報や免疫の大切さなどを伝えたうえ、各自が慎重に検討して判断するように呼び掛けた）が有名になりましたが、あれは正しいと思います。やはりメリットもデメリットも情報を提供して判断してもらう、というのが大事ではないかと思いました。

**北上**：情報といえば、兵庫県でも市町に情報を出すか出さないかが、保健所ごと、管轄

ごとバラバラな対応だったんですよ。やはり県の保健所と当該の市町が日ごろから情報共有して信頼関係を作っておかないと、いざっていうときに対応ができませんんですよ。やはりそういう意味でも県と市町との連携は、住民の命を守っていくという観点から大事だなと思いました。**松原**：コロナ禍を受けて、各自治体で何かラディカルな取り組みとか新しい動きはありますか。

**木村**：こっち側ではなくてね、体制側の動きが急ですね。パンデミックの中でそれを口実に、虎視眈々と狙っていたことを本当に渡りに船みたいな感じで、一気に全方位から怒涛のように押し進めるっていう。それに対して我々の側は全くついていけないっていう印象ですね。例えば学校で児童生徒に夕

プレットを配るっていう話ね。コロナ禍で一気に加速して、一年前倒しで全員に配るっていうことをやりました。オンライン授業なんかもそうやったけど、ますます数値で示せるものだけが教育の成果であるかのような。授業なんてオンラインで大体できるし、学校に行く必要もないじゃん。子どもたちの同士の学び合いや育ち合いみたいなものは、夾雑物（きょうざつぶつ）というか必要ないものだ。タブレットやAIの教材があれば学力は身に付けられるし。そんな流れが一気に加速したんじゃないかなと思います。それで民間委託や民営化というものも、このコロナ禍で一気に加速したように感じます。豊中の市長が「子育てしやすい日本を目指します」とか何とか言っていて、いろいろプログラムを出してきたけど、そのほとんど全てが民間委託なんです。塾であったり、教育産業であったり。そういうところに委託してやらせる。びつくりしたんですけども、プール授業を民間のスイミングスクールでやってもうと。プール授業は公立の学校の正規の体育の授業だからね。それを認めたら英語の授業はECCにやってもうたらええやないか！って。受験直前に予備校の教師に来てもらって受験対策の授業やってもうたらええやないか！って。話。その中で本来の教育とは何かっていうところは空洞化していくっていうね。もうとんでもない流れになったと感じています。

**松原**：次に戦争の話でいうと、本当に僕たちが生まれてから経験していない新しい（古い？）フェーズに世界が入ってしまったんじゃないか？と感じてしまいます。国内でも沖縄の状況があったり、武器の輸出のことがあったり、どんどん戦争ができる国になっていっている国内の状況も踏まえて、毎年「戦争と平和展」を開催されている高木さんからお願います。**高木**：平和展をやるきっかけになったのは、高槻市内で在特会系の人たちが「慰安婦は嘘や。でっち上げや」という内容の展示を開催することであった。過去の戦争に対してな



2024 パレスチナと暮らしカレンダー by 架け箸

▲架け箸…パレスチナの手作りの品を仕入れ、販売している。ホームページでは現地の風景写真で構成したカレンダーを無料配布している。https://kakehashi-palestine.com/

想像力を解放し  
でも、もうちょっと  
しまっているから  
髓までしみ込んで  
のが、僕らの骨の  
手に入れるという  
金を払って何かを  
られないのは、お  
んどいとか感じ  
はずで、それがし  
たりすることもある  
たりのものを自分で作っ  
ど、自分の生活を大変やけ  
な自給自足の生活は大変やけ  
ます。

難波：私は、意見が合わない  
のは人間同士もそうやし、国  
同士もそうやし、あつて普通  
やと思うんです。そこに武力  
が入るといことがおかしい  
な、と単純に考えます。先日  
の朝日新聞にも書いてあつた  
けど、どつちの国が悪いとか  
良いとか、そういう話じゃな  
くて、戦争自体があかんね  
んつていうことが大前提です  
よね。今、どんどん日本は軍  
事を拡大していて、逆の方向  
に向かっているのが本当に許  
せません。

木村：今やっている対策つ  
て、基本的には今と同じよう  
な物質的生活、快適さ便利さ  
というのを、とりわけ先進国  
が手放さずにどうやって排出  
量減らすとか、温暖化のス  
ピードを遅くするかというよ  
うなところの議論になってい  
ます。「持続可能な成長」の  
範囲内でどうするかについて  
話になっているので、そこを  
問い直すことがないと、  
どうにもならないのかなと思  
います。

北上：川西にパレスチナのオ  
リーブの木で作ったお箸と  
か、織物とかブローチとかを  
販売している方がおられま  
す(※左写真キャプション参  
照)。遠い国の知らない人の  
命が奪われているということ  
にとどまらず、自分たちも何  
らかの形でつながっていて、  
そのつながっている人たちが  
日々危険に晒されているつて  
いう感情を持つことは、私は  
大事じゃないかなと思います  
ね。為政者の都合で民衆が殺  
し合う、犠牲になるといこと  
とを避けたいといけない。だ  
から、国と国との対立に市民  
が巻き込まれることはないよ  
うに、市民がつながっていく  
ということが何より大事だと  
思います。

松原：もう一つ、個人として  
どうしたらいいのか悩んでし  
まう問題として気候変動があ  
ると思います。今は温室効果  
ガスとしてのCO2をどこま  
で削減できるのかということ  
ろにほとんど収斂されている  
ような状況ですよ。そこに  
はすごく疑問を感じていま  
す。

て、本来の人間が生きてる営み  
を考え直す必要があると思う。  
高木：炭木で運動をしている  
若い大学生と情報交換してい  
るのですが、その人はNGO  
代表をしていて、昨年エジプ  
トのCOP27に行つてみた  
ら、会場ではCO2を回収す  
る技術とか、アンモニアで新  
たなエネルギー源を作ると  
か、企業の見本市みたいなこ  
とをやっている、違和感を  
持っている聞きました。今  
回のCOP28もそういう面が  
あつたらしいですけど、大量  
生産・大量消費を改める気は  
なくて、とりあえずCO2を  
削減するための新たな技術な  
どを編み出して、いまの経済  
システムというか金儲けを永  
続させようという勢力が、か  
なり気候変動対策の中で大勢

### 「大きな物語」と日々の課題を どうつなげていくか

松原：問題を起こした同じマ  
インドで臨んでもその問題を  
解決できない、という言葉が  
ありますが、例えばコロナ禍  
でたくさんの方が亡くなりま  
したが、その要因である医療  
や保健体制の脆弱さを作つて  
しまったのと同じマインドで  
対策を考え、それでまたお金  
をもうけるという構造ですよ  
ね。一種のショックドクトリ  
ン(災害型資本主義)という  
か。戦争や気候変動について  
も同じ側面があります。原因  
とか真実はどうでもよくて、  
それを梃子にしてどうお金儲  
けができるか? そのような  
大きな流れの中で、私たちが  
市民として何か行動できる、  
変えられるってどんなことが  
あるでしょうか?

高木：コロナ禍もそうでした  
し、国とか都道府県が方針出  
すからそれに従え、みたいな  
部分が強くなりつつあるなど  
思っています。戦争なんかま  
さに地方自治体が国の下請け  
になって兵隊集めて戦場に

送つてという中央集権的な体  
制になっていました。かつて  
の戦争を経験したうえでそれ  
を見直そうということで地方  
自治が大事だと言われていた  
のに、また国の方に力を持っ  
ていくような流れがあり、そ  
の中で戦争に突入していこう  
としています。僕はそれには  
抗つて、逆に小さな単位で小  
さな中で生活が成立するよう  
なものをもっと地域の中で  
作っていくことが、気候変動  
や感染症、戦争に対抗してい  
く手段になるのかなと思いま  
す。小さな単位でみんなが知  
恵を出し合つて、生きていく  
術をみんなで作っていくみた  
いなところを大事にしたいな  
と思つています。

を占めているんじゃないかな  
と。それに対して若い活動家  
らが抗議行動をしています。  
そもそも、今の大量生産大  
量消費の社会はCO2抜きに  
してもいざれ息詰まってい  
ます。そうしなければゆくは  
戦争するという歴史の繰り返し  
があるわけで、そういう意  
味では今の経済システム、資  
本主義の大きな流れを止めな  
いといけないと思つていま  
す。

北上：地産地消をもっと積極  
的に展開していく必要がある  
と思いますし、公共交通の維  
持、利用促進も大事な課題に  
なつてくると思います。自然  
エネルギーの中でも地熱エネ  
ルギーの割合を増やしてい  
くべきではないかなと思つて  
います。それと、自然災害もど  
きだと思つています。

難波：この地球に住んでいる  
のは人間だけじゃないので、  
人間中心に考えるつていうこ  
とを私はあまりしたくないと  
思います。今度新しく乗合タ  
クシーが能勢町で導入される  
んですけど、その停留所の場  
所について「そんなんあか

ん。家の前まで来てくれな  
かん」という話が出る。車で  
生活している人は、常にそれ  
を維持したいと思つてはるん  
ですね。そのへんの感覚が身  
に染みついていてるというか。  
逆に若い子どもたちはその辺  
りの問題を、ちゃんと考えら  
れるんじゃないかなつて思つ  
ています。こんな自然豊かな  
町に住んでるんやから、もつ  
と違う在り方を考えていこう  
よつて。そういうことを対話  
の中に織り込んで、少しずつ  
分かつていってもらえたら  
いいなと思つています。

木村：資本主義をいかに乗り  
越えるかつていうのがど真ん  
中の問題意識です。地域の具  
体的な政策・施策のレベルか  
ら市民相談の話、学童保育の  
問題とか、隣の家と騒音トラ  
ブルで揉めているみたいな現  
実的な課題を、「大きな物語」  
の中でどう位置付けていくの  
か。

「大きな物語」と日々の現  
場を直面する問題や地域の問  
題をどうつなげていくかが大  
事なのに、今の社会運動に一  
番欠けているのは、大きな物  
語がないつていうか、僕らが  
どんな世の中を目指してるね  
んつていう話ですよ。よく  
言われるように、今の若い人  
たちが社会問題に無関心なわ  
けではなく、例えばボラン  
ティア活動をやりたいと考え  
ている大学生なんかはたくさ  
んいるわけ。ただいかにせん  
ん、想像力が骨の髓まで商品  
経済に浸かつてしまつてい  
るので、彼らにとって持続可能  
性というのは、金が稼げるか  
どうかになつてしまつてい  
る。金が稼げないものは続け  
ていけないのでムーブメント  
にはなりえないとか、そうい  
う発想。だから、コミュニテイ  
ビジネスみたいなものは個人

れだけ温暖化の影響あるの  
かつていう議論はあるんです  
けど、現実として集中豪雨や  
河川の氾濫が起こつているの  
で、私は命を守るということ  
でいえば、軍事費にお金をつ  
ぎ込むよりも集中豪雨とか地  
震などの自然災害にどう対応  
していくのか、そういうこと  
に政治はエネルギーを注ぐべ  
きだと思つています。

関西の商工協同組合  
**第42回通常総会**  
○日時：4月6日(土) 午前10~12時  
(総会后、同ビル内にて昼食懇談会を予定  
しています。懇談会の会費は5,000円です。)  
○場所：千里朝日阪急ビル 14階第2会議室  
(北大阪急行「千里中央駅」下車)

的に「クソくらえ」です。あ  
らゆる人間関係、人間の営み  
をすべて商品交換に置き換え  
てしまつていくことが、今の  
社会の一番の病弊やと思うか  
ら。

そうでない在り方をどう  
作つていくのかという点で  
は、仕事づくりセンター(※  
①)や北摂ワーカーズ(※②)  
には期待しているんですけど  
ね。とにかく想像力を解放し  
て、もっと楽しい生活、金を  
稼ぐことに忙殺されて人間ら  
しい営みが奪われてしまつて  
うな社会ではない社会を、僕  
らは展望できるし構想でき  
るつていう、そういう「大き  
な物語」を持ちつつ目の前の  
現実に向き合つていきたい。  
そんな感じですね。

※①日雇い労働者や障がい者、  
外国人など、多様な生き方  
/働き方を保障し、「働く」  
の問題に取り組むNPO。  
※②直線的な雇用関係ではな  
く、働く人が出資し経営に  
も参加する労働者協同組合。

松原：みなさん、ありがどう  
ございました。新年号にふさ  
わしいお話を聞けたと思いま  
す。

松原：みなさん、ありがどう  
ございました。新年号にふさ  
わしいお話を聞けたと思いま  
す。



# つなげあい、たすけあい、 ひろげよう！

今年もよろしくお祈いします

関西<sup>くらし</sup>の商工協同組合 組合員一同

しぜん塾やぎ農園 <small>運営：株式会社アットホーム 里山の自然の中で、共に働き、暮らす</small>	アロー物流有限会社 あけましておめでとうございます。 本年もよろしくお祈いします。	(株)安全食品流通センター 新センターからアグレッシブな物流を！	(有)近江産地直送センター 今年もよろしくお祈いします
大北食品 (株) “いのち”をだいに	(株)大阪産地直送センター 誰もが生きたいと思える世の中に	(有)太田電気工業 電気工事のことはお任せください！	(有)オーガニック雪花菜フーズ 原発反対！
カミノ住設 水回りのことは何でも、 お任せください！	(株)川西産直センター 正しい「国家観」と「貨幣観」で 今こそ経世済民を！	関西仕事づくりセンター みんなで創ろう みんなの仕事	関西よつ葉連絡会 “世界”を変える暮らし
N P O 学遊 新しい学び支援で、経済格差や地域 格差による教育格差を無くそう！	(株)北近畿産地直送センター 本年も、よろしくお祈いします	(株)協同自動車 車検・点検・整備 新車、中古車販売から廃車まで	(有)協同総合保険 自動車保険・損害保険 火災保険・生命保険
(有)京都オーガニックサークル 誰もが笑って暮らせる世の中に！！	N P O 法人きらら ともに生きる幸せをつくります	クリエイト大阪 (株) 想像から創造、 理想をカタチに	医療法人光愛会 光愛病院 「鳥は空に、魚は水に、そして人は社会に」 地域での生活を応援します
(株)国際印刷出版研究所 封筒・伝票から パッケージ・美術印刷	(株)産地直送センター 本年も、笑顔絶やさず、 頑張ります！	(株)商工経営センター 関西暮らしの高工組合の皆さんと 共に歩んでいきます	N P O 法人タケミ 地域の人たちが自主・自発的に活動 される際のお手伝いや支援をします
(株)但馬産地直送センター 新事務所に移転しました。酒は 控えめに、飛躍の年にします	(株)丹波協同農場 大豆・麦など、加工用農産物の 自給と自立を目指します	(株)奈良産地直送センター 地球・しぜん・生命の尊厳	N P O 奈良よつば福祉友の会 あたたかな心と笑顔で お待ちしております
(株)能勢産直センター 自然エネルギーで子どもたちの未来に 安心して暮らせるまちづくりを	(株)能勢農場 地域内循環の畜産をめざして	(株)能勢食肉センター 今年も美味しいお肉をお届けでき るよう、職員一同頑張ります！	パナス工業 (株) 冷凍冷蔵設備/空調設備の工事 メンテナンスのことならお任せください！
(有)パラダイス&ランチ 美味しいパンで笑顔あふれる一年に	(有)阪神産地直送センター 地域とのつながりを大切に 安心できるまちづくりから	(株)阪和産直センター 朝鮮学校も高校、幼保 無償化を！	(有)東大阪産地直送センター 毎週土曜日、夕方市開催中 ぜひおこしください！
(株)ひこばえ 心持ちを同じくする多くの皆さん との協同を追求します	兵庫いきいきコープ 脱原発！！ 誰もが笑顔で暮らせる 世の中に！！	(株)別院協同農場 真心を込めた栽培・出荷に努めます！	(株)別院食品 「うすあげ」待ってて下さいね！
(有)北摂協同農場 地域とのつながりを大切にする 農業を目指しています！	北摂・高槻生活協同組合 原子力発電の即時廃炉！ 普天間基地の辺野古移設反対！ マイナンバー監視社会に反対！	北摂ワーカーズ 庭木の剪定、お家のお片付け、 身の周りの「困った」に応えます	医療法人敬天会 星のクリニック みんなで生きていく
(株)やさい村 トリチウム(三重水素)の 海洋放出 絶対反対	(株)矢治パッケージ 包装のことならお任せを！	(株)ヤマテック “ひとにやさしく食に思いやり” 包装資材、コロナ対策品、物流機器、他ご要望に応じ、 ご相談に乗ります。一度お問い合わせください。	よつ葉クリーンサービス 原発はもうごめんだ！
(株)よつばこ 今年もよろしくお祈いします	(株)よつば農産 地場と旬を農の中心に	社会福祉法人 よつば福祉 歳をとっても安心な社会へ	(株)よつ葉 <sup>ホムデ</sup> 京都南 核や原発のない世界を作ろう！
(株)よつ葉 <sup>ホムデ</sup> 京滋 センター事務所が宇治市に移転！この 地で人と人がスパークする瞬間を！	(有)よつ葉 <sup>ホムデ</sup> 京阪 原子力に頼らない社会を推進します！！	(有)よつ葉 <sup>ホムデ</sup> 奈良南 謹賀新年	(株)淀川産地直送センター 人と人とのつながりが大きな力に！！